



## 1. 2021年の年賀状は学友によるデザイン

当会では、評議員、理事、地区米山記念奨学委員長、奨学生、日本在住の学友、他団体などへ毎年約 4,700 枚の年賀状を送っています。今年の年賀状は、画家として活躍する米山学友、張媛媛さん（2018-19/東京江北RC）によるデザインです。描かれた「牛頭アマビエ来迎図」は、2021年2月12日～23日まで、上野の森美術館で開催される張媛媛展でも展示される予定です。



張媛媛さんより

丑年ですので、牛の頭を持つアマビエ様に、疫病から皆さまが守られるようお願いを込めました。鯉は、中国のお正月にしばしば描かれる縁起物です。2月の個展で原画も見ていただけたら嬉しいです。2021年が皆さまにとって良い一年となりますように。



## 2. 緊急事態宣言の発出を受けて

新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、政府は1月7日に埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県を対象に緊急事態宣言を発出しました。13日にはさらに栃木県、岐阜県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、福岡県にも追加発出し、現在のところ、11都府県が同宣言下にあります。

今後、対象地域を中心に、昨春同様に例会を休会するクラブが増えると予想されます。本来、米山奨学生には毎月、世話クラブの例会出席時に奨学金を支給していただくことになっていま

すが、休会等で直接渡すことができない場合は、銀行振込などで柔軟に対応いただけますようお願いいたします。各世話クラブには、1月8日にメールにてお知らせしていますので、ご確認ください。

また、当会事務局もテレワーク推進の要請に従って、当面の間、出勤する人数を最小限とし、原則、在宅勤務体制で業務を行います。ご不便をおかけしますが、何とぞご理解のほどお願いいたします。

## 3. 内閣府による2回目の立入検査が無事終了

12月22日、内閣府による立入検査が当会事務局にて実施されました。これは、各公益法人に対して定期的に行われるもので、当会では2016年1月に続いて2回目となります。当日は、内閣府公益認定等委員会事務局の調査官お二人を迎え、業務執行理事を務める水野功副理事長と柚木裕子事務局長、法人および財務・経理の各担当職員が立ち会いました。

最初に、水野副理事長から『米山記念奨学事業・豆辞典』をもとに事業の沿革や特徴について説明し、前回の立入検査での指摘を受けて整

備した地区・クラブとの「業務委託」の枠組みについて報告しました。

事業の詳細についての質疑応答に続いて、理事会・評議員会の議事録類・経理帳票等の点検、事務局内の現場確認など、一連の検査はスムーズに進み、予定より早く無事終了しました。調査官からの講評として、「特に問題はなく、きちんと運営されている」との評価をいただきました。その上で、今後整備・検討すべきことについて2点ほど示唆されたことがありますので、今後の常務理事会で検討してまいります。

## 4. オンライン交流会で海外学友会からエール

昨年11月28日、第2750地区（東京都）では地区米山奨学委員会主催による「米山奨学生オンライン交流会」を開催しました。

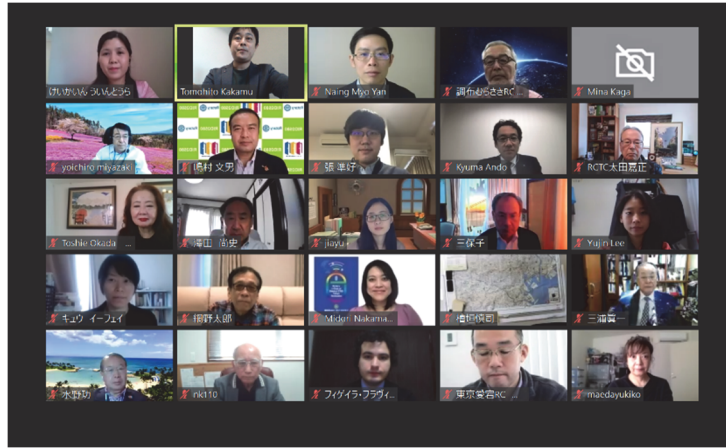
同地区は昨年から米山関連行事のほとんどが中止となっています。昨年9月によく、奨学生とカウンセラー、地区米山委員の初顔合わせができたものの、感染予防の観点からしっかりとした交流には至りませんでした。そのため、同地区米山委員会で協議を重ね、例年ない初めての取り組みとして、オンラインでの交流会開催を決定しました。

当日は、ミャンマー米山学友会のケイカイン

会長に卓話を依頼。同学友会の他のメンバーも参加し、コロナ禍において奨学生としてどのように過ごすべきか、奨学生時代の経験や現在の学友会の活動をふまえて、現役奨学生たちに熱いエールが送られました。同交流会には地区内の奨学生、ロータリ

アリアンはもちろん、地区外からも多くのロータリアンが参加し、オンラインならではの強みを生かした交流会となりました。

（情報提供：第2750地区米山記念奨学委員会 米山学友委員長 各務 智仁さん）



## 5. 韓国米山学友会オンライン総会

延期になっていた韓国米山学友会の定期総会が昨年12月13日、同学友会史上初のオンライン形式で執り行われました。開会に先立ち、全炳台会長（1980-83, 91/仙台北RC）より、コロナ禍にもかかわらず、日本人奨学生5人を採用できたことについて感謝が述べられました。そして「この事業は日韓の持続的な友好関係構築に多大な助けになると信じている」とし、さらに採用者を増やすための協力が呼びかけられ

ました。続いて、当会の齋藤直美理事長、台湾米山学友会の郭錦堂理事長、関西米山学友会の関スラ会長から寄せられたメッセージ動画が披露されました。このほか、寄付者へ感謝状授与、2020年度の財政報告、奨学基金の報告、学友会活動報告、次年度活動計画、今年度の日本人奨学生へ奨学金授与式が行われ、オンライン総会は今回が最初で最後となることを皆で願いつつ、閉会となりました。

## 6. 寄付金速報 — 前年度とほぼ同額で推移 —

12月までの寄付金は前年同期と比べて0.5%減（普通寄付金：1.8%減、特別寄付金：0.05%増）、約400万円の減少となりました。都市圏を中心に緊急事態宣言が再び発出され、コロナとの付き合いも2年目に入ろうとしています。いつ日常を取り戻せるのか先行き不透明ななか、皆さまからの貴重なご寄付に厚く御礼申し上げます。

なお、「2020年度下期普通寄付金のお願い」を当会から各クラブへお送りしています（メー

ルアドレス登録のないクラブはガバナー事務所経由）。コロナ禍でのお願いとなり大変恐縮ではございますが、今後とも何卒ご支援賜りますよう、よろしくお願いいたします。

昨年1年間（1～12月）に特別寄付をしたすべての方、もしくは普通寄付金の領収証を申請したクラブには、1月末日までに（確定申告に間に合うように）、認定証の写しが付いた申告用領収証をロータリークラブ宛に送付します。

